

国内 IGF 活動に関する新法人設立準備状況のご報告

掲題の件、以下の通りご報告します。

- 1) 2025 年 11 月 20 日執行理事会において、2025 年 9 月以降、JPRS の堀田さん高松さんが「ファシリテーター」を自称しながら、人事以外の準備項目も含め線表案を提示しながら、準備作業をリードし始めたこと、JPNIC の中では役職員対応チームとメールのやり取りを含む状況を共有して相談し、適宜作戦会議をしながら進めていることを報告するとともに、JPNIC が発起人、設立時社員となること、江崎理事長が JPNIC を代表して新法人の理事となることの承認をいただいた。
- 2) 人事以外の準備項目としては、会員候補、役員候補などの同定と働きかけや、働きかけの際の説明材料にも必要となる会費構造の素案などに関して大まかな合意に至っている。
 - a) 会費に関しては、50 万円、10 万円の 2 種を準備する
(新法人全体で 300 万円程度の年間活動費用確保を見込む)
 - b) 主要発足時団体に設立基金の拠出を要請 (100 万円を限度か)
- 3) 法人設立に関しては 2025 年度内 (2026 年 3 月中) を目標に計画。
 - a) 今年度拠出が想定されている設立基金の JPNIC における手当てに関しては、2025 年度予算に盛り込まれており、執行可能
- 4) 人事に関して以下の状況です。
 - a) 設立時理事の候補としては、加藤氏、小畑氏、堀田氏、江崎理事長の他に、KCG (京都コンピュータ学園)、GMO、IAJapan からの参画も想定されている
 - b) 2024 年 9 月に妥結した定款案における「座長を兼任する副理事長」というポジションに対して再考されている最中で、JPNIC からは「理事会指名の座長とフォーラム指名の座長による共同座長制」という代案を提案し議論中
 - c) 設立時社員に関して、設立基金拠出との関係の明確化を議論中

以上